

## 認知症サポーターによる居宅で暮らす認知症の人への支援活動が、サポーター自身にもたらす生活の質（QOL）と心理的健康に及ぼす影響について

神戸市は、神戸学院大学総合リハビリテーション学部が下記の研究を実施するにあたり、同意を得られた受講者の情報提供等で研究に協力しています。

以下に研究の概要を公開致します。

本研究は、地域で認知症の人を支援するボランティアの育成につながる事業の評価を目的として実施するものであり、何卒ご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

### 1. 研究の目的

2017年度に実施した「神戸市スーパー・サポーター養成講座」受講者、2018年度に実施する「神戸市認知症スーパー・サポーター養成講座」受講者（以下、サポーターとする）からの支援が、サポーター自身の健康関連 QOL や自己効力感などの心理的健康に影響するかを検証し、最終的に当該事業の目的である、地域で認知症の人を支援するボランティア育成につながることを目指す「神戸市認知症スーパー・サポーター養成講座」の評価を行うことを目的としています。

### 2. 研究対象者

2017年度に神戸市スーパーサポーター養成講座を受講し、訪問サポーターになる意思を持ち神戸市に名簿登録した者および、2018年度に開催する「神戸市認知症スーパー・サポーター養成講座」の受講者全員

### 3. 研究方法：

訪問サポーター登録リストをもとに2017年度受講者に神戸市から、調査票と同意書を送付します。同意された方には、調査票と同意書を研究責任者に返信していただきます。2018年度受講者には講座初回（ベースライン調査）講義の場で、研究責任者が同意書と調査票を配布しその場で回収し、講座修了半年後には研究責任者が郵送にて、自記式構造化質問紙を用い、データを収集します。

### 4. 研究に用いる調査項目

基本属性（年齢、性別、サポーター歴、職業等）、認知症に関する知識（DKAS25 項目）、支援活動の実績、健康関連 QOL（EQ 5D 日本語版）、自己効力感（一般的セルフエフィカシー）、ソーシャル・キャピタル、主観的健康感等。

### 5. 予定研究期間

2019年8月2日（神戸市倫理審査会の承認日）～2019年9月

## 6. 研究組織

研究責任者：相原洋子（神戸学院大学総合リハビリテーション学部特命准教授）

共同研究者：前田潔（神戸学院大学総合リハビリテーション学部特命教授）

研究協力者：神戸市保健福祉局介護保険課 丸山佳子, 亀徳篤, 告野遥香

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

### 【担当】

住所：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

電話：078-322-5259

神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課認知症対策係

### 【研究責任者】

住所：〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

電話：078-974-5094

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

特命准教授 相原洋子